

募集要項

本プログラムは、将来、国際的に活躍するエンジニアの育成を目的として、海外企業における職場体験及び工場見学、英語プレゼン研修、先端技術に触れること等によって、海外のものづくりの現状や環境を学ぶとともに、将来の目標に向けて、海外における“最初のチャレンジ”を経験する機会を提供する。

派遣先：アメリカ合衆国ワシントン州シアトル

期間：令和7年9月4日（木）から13日（土）

募集人数：40名（両キャンパス合計）

プログラム内容

- ①ネイティブ講師による英語レッスン・英語プレゼン研修,英語力テスト
- ②シアトルの現地企業における施設及び各種ミュージアム見学,事前学習
- ③現地日本人エンジニアとの交流(予定)
- ④現地高校生との交流
- ⑤ホームステイ先のホストファミリーとの交流(1家族2名程度)

プログラム日程（予定）

日時	イベント名
6/15AM	オリエンテーション(保護者参加可能)
品川6/18~8/27 荒川6/19~8/27	英語レッスン(品川:水、荒川:木、時間は15:30~17:30予定) 8/27の場所・時間は別途通知
6~8月	事前学習
8/2~11	英語力テスト(CASEC) オンライン
8/2,3,20,27AM	事前研修(デザイン思考を活用したグループワーク)
8/2研修終了後	渡航前説明会(保護者参加可能)
9/4~13	海外プログラム(シアトル渡航)
9/16~23	英語力テスト(CASEC) オンライン
9/27AM	事後研修
10月中	英語レッスン(GCO参加全4回)
10/31AM	リハーサル
11/1AM	最終報告会

国内活動場所（予定）

オリエンテーション、事前研修、渡航前説明会	荒川キャンパス
英語レッスン	所属キャンパス(8/27除く)
事後研修、リハーサル、最終報告会	品川キャンパス

※学校行事により変更することがあります。

参加を希望する学生へ

国際化推進センター副センター長の乾です。インターナショナル・エデュケーション・プログラムに参加を希望する皆さんに、国際化推進センターから思いを共有しますので、よく確認の上プログラムに参加ください。

本プログラムは、将来、国際的に活躍するエンジニアの育成を目的として、海外におけるものづくり現場を見学すること、現地の日本人エンジニアの生の声を聞くこと、ホームステイで異国の生活体験をすること、期間中の英語レッスンの集大成としてプレゼンテーションを行うプログラムです。プログラム中は、個人での学習課題の他にグループワークを行います。

異国の地で、良く知る家族や友人と離れ、君たち自身が他の参加者や仲間と交流し、仲間と一緒に取り組むことを必要とします。

一緒に活動する仲間を尊重し、ルールを守り、協調性をもって積極的に取り組める方の参加をお待ちしております。

勇気をもってチャレンジしたい方は、ぜひ参加してください。



国際化推進センター
教授 乾 展子

参加資格

①～⑥すべて満たす方が参加できます。

- ①本校ものづくり工学科1～3年次に在籍している者
- ②将来海外で活躍するエンジニアを目指し本プログラムに積極的に参加できる者
- ③本プログラムで実施する全ての研修等に出席することができる者
- ④授業料未納者ではない者
- ⑤これまでに本プログラムに参加したことがない者
- ⑥オンライン会議参加とプレゼン資料が作成可能なマイクカメラ付き持ち運び可能なPC・タブレットをプログラム期間中に持参できる者

参加条件

参加者は下記の参加条件をすべて承諾するものとします。

- ・本プログラムで実施するカリキュラムには、原則全て参加すること
- ・参加費用を、請求日までに支払うこと
- ・参加者決定後は、原則途中辞退ができないため、それを理解した上で参加すること
- ・参加者が、課題提出を行わない場合や、考慮すべき事情なしに参加状況が著しく悪い場合は、キャンセルに伴う費用の全額を負担の上海外派遣を取りやめにする
- ・参加者が海外派遣終了後に課題等の提出及び考慮すべき事情なしに最終報告会での発表を行わなかった場合は、学校負担分を加えた参加総費用の全額負担するとともに学外学修単位を認定しないことがあること
- ・参加者は、次年度以降の本プログラム等の実施に協力すること
- ・参加者は、グローバル・コミュニケーション・プログラムへの推薦選考参加資格を付与すること
- ・授業料未納者は、渡航前までに授業料が納入された場合に限り海外へ派遣すること
- ・参加者は、科目・単位：「海外語学研修」学外学修単位1単位を申請により取得できること

出願方法

STEP1 本募集要項をダウンロード・印刷

STEP2 参加申込書兼承諾書(4ページ)を提出

参加申込書兼承諾書を教務学生係窓口へ提出し、受検票を受け取る。

提出先 各キャンパス 2階事務室 国際化担当

提出期限

令和7年4月28日(月)10時から5月2日(金)17時まで(厳守)

選考スケジュール

1次小論文選考	5/9(金)16時30分	所属キャンパスにて実施
1次合格発表	5/21(水)12時	各キャンパス事務室前掲示
2次面接選考	5/25(日)	品川キャンパスにて実施 (集合時間は受検票に記載)
最終合格発表	6/3(火)12時	各キャンパス事務室前掲示 合格者にTeams登録案内

参加費用について

約31万円(総費用約102万円のうち、71万円を学校負担)

後期学生負担金により1月末請求予定(口座引落又は振込)

【費用内訳】

ア 海外往復航空券(燃油サーチャージ、空港税、入国税含む)

イ 語学研修費用

ウ ホームステイ滞在費(朝、昼、夕食付き)

エ 交通費(ホームステイ先から語学研修場所への通学用)

オ 見学施設入館料、見学施設への交通費

カ 旅行手続き代行手数料

キ レンタル携帯・Wi-Fi(通話料を除く)

※ 上記以外の、渡航に関する費用(スーツケース、衣服、医薬品、その他個人ごとに必要なもの)、海外旅行保険、国内プログラム及び現地での自由行動時の交通費・食事代等は自己負担です。

※ 減免制度あり。合格発表時に公開予定

問い合わせ 国際化推進センター k_tmcit@jmj.tmu.ac.jp

1 次小論文選考について

下記の課題を出題します。あらかじめ回答の準備をした上で、小論文選考に挑んでください。なお課題1課題2で同じ内容を回答しないように注意してください。(筆記用具以外の持ち込みは禁止)

課題1

インターナショナル・エデュケーション・プログラムへ参加を希望する理由をこれまで自分自身が行ってきた活動をふまえて300字以内で述べてください。

課題2

将来どのような技術者になりたいか、そしてそのような技術者になるために本プログラムで学んだことをどのように活かしたいか300字以内で述べてください。

1 次小論文選考実施日

課題に対する試験を下記の日時に実施しますので、集合してください。

5/9(金)16時30分集合 品川キャンパス 情報センター講義室
荒川キャンパス 第5講義室

持ち物:受検票、鉛筆、シャープペンシル、消しゴム

1 次合格発表

1次選考合格者を対象に、2次面接選考を実施します。受検票には集合時間を記載していますが、不合格者は面接を受けられませんので、注意してください。

5/21(水)12時 各キャンパス事務室前に掲示

2 次面接選考

5/25(日)品川キャンパス 時間は受検票に記載
持ち物:受検票

プログラム詳細

国内プログラムでは、まずネイティブ講師による英会話レッスンを実施します。英語で発言することの実践を積み、海外プログラムへの基礎を作ります。

また、デザインシンキングを活用した課題解決の個人ワーク、グループワークを行い、プレゼンテーションスキルを学習します。

海外プログラムでは、引率教員2名、添乗員とともにアメリカ合衆国シアトルへ渡航しホストファミリーの元にホームステイします。

期間中は、シアトルにある各社現地工場、各種ものづくりの博物館等施設を巡りアメリカのものづくり現場を視察。現地で働く日本人から、グローバルに活躍する人の生の声を聞き、交流を行います。



滞在の最終日には、国内プログラムで学んだ英会話とプレゼンテーションを活用し、現地にて課題のプレゼンテーションを行います。

帰国後は、現地での英会話力・プレゼンテーション力を振り返り学習を行い、産技祭/高専祭にて最終成果を発表します。

すべてのプログラムを修了し報告書を提出した後は、学外単位が付与されます。※申請制

カリキュラム内容 ※変更する可能性があります

6/15AM	オリエンテーション(保護者参加可能)	参加者の皆さんにプログラムの説明を行います。
品川6/18~8/27 荒川6/19~8/27	英語レッスン(品川:水、荒川:木、時間は15:30~17:30予定)8/27の場所・時間は別途通知	ネイティブ講師による英会話レッスンです。HR日に行います(全7回)
6~8月	事前学習	渡航前に、渡航先のシアトルに関する全8課題(予定)のレポートを提出します。
8/2~11	英語力テスト(CASEC) オンライン	渡航前の英語力測定です。
8/2,3,20,27 AM	事前研修(デザイン思考を活用したグループワーク)	グループに分かれてプレゼンテーションを作成します。 ネイティブ講師の指導のもとで、テーマを議論します。
8/2研修終了後	渡航前説明会(保護者参加可能)	渡航に関する準備事項や手続きについて説明会を行います。
9/4~13	海外プログラム(シアトル渡航)	本プログラムでは、ホームステイを通じたホストファミリーとの交流や現地高校でのプレゼン、その他シアトルのものづくり現場を見学します。レポート提出有
9/16~23	英語力テスト(CASEC) オンライン	渡航後の英語力測定です。
9/27AM	事後研修	最終報告会に向けて、シアトルでのプレゼンをネイティブ講師による指導のもと一層ブラッシュアップさせ、練習を行います
10月中	英語レッスン(GCO参加全4回)	英会話の継続レッスンとして、GCOに4回分参加します
10/31AM	リハーサル	本番前の最終練習です
11/1AM	最終報告会	プログラムの成果として、産技祭/高専祭の場で、英語にてプレゼンを行います。

プレゼンテーションについて

国内プログラム・海外プログラムを通じて、グループごとにデザインシンキングを用いたプレゼンテーションを作成し発表を行います。

デザインシンキングの定義は、デザインを行う際の流れを用いて、ユーザーの視点で物事を見定める思考法です。

プログラム期間中に作成→発表→フィードバックを繰り返し、ブラッシュアップをして最終報告会に挑みます。

(プレゼンテーション作成に伴い、PC・タブレット等を使用します。)

受験番号

令和7年度インターナショナル・エデュケーション・プログラム 参加申込書兼承諾書

東京都立産業技術高等専門学校長殿

私は

1、個人情報、本プログラムの実施に必要な範囲内で本学が指定する委託業者、宿泊先、運送機関、その他第三者に提供されること

上記に同意の上でインターナショナル・エデュケーション・プログラムへの参加を申し込みます。

学生番号(4ケタ)または学修番号(8ケタ)

学生氏名

私は応募にあたり募集要項の内容を確認し同意しました。 (チェックを入れてください)

(以下保護者記入欄)

学生が応募するにあたり募集要項の内容を確認し同意しました。 (チェックを入れてください)

私は、保護者・保証人として上記申し込みを承諾します。

保護者・保証人氏名

印

ホームステイを知ろう

このプログラムでのホームステイは、学生同士ペアを組んで、外国の一般家庭に入りその家庭の一員となって生活することです。日本とは、文化、慣習、考え方など様々な違いがあります。トラブルを防ぐため、参加する学生の皆さん、また保護者・保証人の方は、ホームステイの特色を理解した上で、申し込みをして下さい。

家庭の一員であることを自覚しよう

ホームステイは、あくまで家族の一員。お客（ゲスト）としては扱われません。要望は言わないと伝わらないし、伝えても希望を聞いてくれないことはよくあります。

ホストファミリーは、選ばません

受入れの家庭は、こちらからは原則選ばません。また、渡航の直前に相手の都合で突然変更することが頻繁にあります。アメリカは移民国家のため、受入れ家庭の宗教・人種等の指定はできません。

渡航直前までホストファミリーが決まらないことがあります

受入れファミリーの都合で、いきなり受入れられなくなった、ということがあります。日本の常識だと驚きますが、どの家庭にホームステイするかが直前まで決まらないことがよくあります。

メールで事前にやり取りできないことがあります

ホストファミリーが決定したら、相手とやり取りが始まります。原則メール連絡を想定していますが、ホストファミリー高齢だったり、ITに疎かだったりすると、メールでやり取りできない場合があります。

日本の文化・慣習は、通用しません

空気を読む、という言葉がありますが、アメリカではそんな文化はありません。YES、NOをはっきり言う。ストレートに物を言うことが求められます。ただし、礼儀・マナーは忘れないようにしましょう。

自分のことは自分でやります

ホームステイ中は自分の衣服や部屋、自分が使った後のお風呂場の掃除をやります。ホストファミリーに相談しながらペアの子と一緒に取り組みましょう。

ホームステイを知ろう

入浴はシャワーが基本です

入浴の慣習がない家庭が多いです。また水が貴重なこと、洗面所やトイレと一体になっていることが多いため、シャワー使用時間は10分程度に制限されることがあります。

報連相を忘れずに

ホームステイ中は、単独行動ができません。外出時は必ずホストファミリーが同行します。ホストファミリーと細かく報連相（報告・連絡・相談）を行いましょう。

自分から話しかけること

アメリカは個人主義です。自ら働きかけないでホストファミリーが気を利かせて何も言わなくても何かをしてくれる、話しかけてくる、ということはありません。何事も自分から行動しましょう。

相手の宗教を尊重すること

アメリカでは、キリスト教等宗教の信仰がある家庭が大多数です。家庭の行事で宗教行事があることがありますが、ファミリーの一員として参加しましょう。

プライバシーを尊重しましょう

積極的にコミュニケーションを取ることは大事ですが、ホストファミリーのプライバシーも尊重しましょう。自室に籠っているときや、身支度しているときは適度な距離を保つようにしてください。

部屋にこもらないようにしよう

シアトル滞在中は、日中ずっと団体行動をするため、疲れがたまると思いますが、なるべく一人にならないでペアの学生やホストファミリーとコミュニケーションを取りましょう。

手土産を持って行こう

ホストファミリーに、手土産を持って行くことをお勧めします。会話のきっかけになるようなものがいいいでしょう。ただし食べ物を持って行くときは選択に気を付けてください。